



優しさと信頼との出会い  
社会福祉法人  
長岡福寿会

# まちだ

Machidaen's public relations magazine

2021  
autumn  
No.117

ご利用者様の未来を考える、コロナ禍の「次」をみすえながら。



ここで輝くあなたのために  
私にできることがある

## contents

- 特養ショートステイ 敬老会、秋まつり ほか
- デイサービスセンター 敬老会、園外散歩 ほか
- 長寿健康教室だんだん ノルディックウォーキング、おかめかぼちゃ絵付け体験教室 ほか
- 高齢者センターみやうち ホワイトシーズンに備えて
- 地域包括支援センター 安心して暮らしていける活動をサポートする取り組み
- 居宅介護支援事業所 医療との連携を考える
- まちだ園からのお知らせ

日頃より、当園の事業について温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。当園から望む東山は日々色付きを増し、ふと園庭を見渡せばけやきが葉を落とし始め、秋の深まりを感じます。季節が移り替わる中、市内の新型コロナウイルス感染症は小康状態を保っています。各事業所では、少しずつ活動を再開し、敬老会や秋祭り等の行事をご利用者にお楽しみいただくことができました。また、国政選挙や元内親王の結婚等ご利用者の興味深い話題も重なり、一時的でも感染禍の緊張から解放された秋をお過ごしただけなことと思います。これから冬の到来とともに第六波への備えが心配されており、感染症の収束に辿り着くまでは、まだ時間がかかりそうです。ご利用者から心穏やかに過ごしていただけるように感染対策に留意し、健康と安全の確保に努めてまいります。



園長 高橋 直樹

## 巻頭ご挨拶

# NEWS

まちだ園からのお知らせ  
I have good news

この秋、まちだ園では、ご利用者様のご長寿のお祝いに明るい雰囲気になりました。全国的な新型コロナウイルス感染症の感染状況も一息をつき、園内では徐々に日常生活に活気が戻ってきました。今年も、全国で水害や地震などの様々な災害に見舞われた地域がありました。当園では、水害や火災、地震などの大きな災害に備えるべく避難訓練を行いました。それから、秋の園庭の環境整備活動を行いました。春に向けて、皆様楽しんでいただけるようにと、花壇にはチューリップの球根を植えました。おわりに、当園では県や市の新型コロナウイルス感染症状況を検討し対策を行っています。従来のオンライン面会のほかに、窓越し面会をスタートさせました。今までお会いできなかった分、ご利用者様、ご家族様、その感激も一入ることと思います。



写真(上)：窓越し面会の様子。窓を隔ててもご利用者様、ご家族様の思いはつながる。



写真(上)：園庭の花壇を整備。春には、チューリップでいっぱいになる。



写真(上)：けやき通りがきれいになり、散歩が楽しい。写真(右)：正面玄関のプランターにはかわいい花々が植えられた。



写真(上)：浸水避難訓練の風景。ご利用者様も可能な限り参加された。写真(左)：エレベーターが使用できない時を考え、階段を利用した避難方法の確認を行った。



## 編集・発行

社会福祉法人長岡福寿会  
〒940-1111 新潟県長岡市町田町540番地  
TEL 0258-39-3927・FAX 0258-39-3946

まちだ園 長岡 Q検索



#まちだ園



## 表紙の人

だんだん、「おかめかぼちゃ絵付け体験教室」の場面。ご利用者様に寄りそう、笑顔がこぼれる瞬間。輝くサービスをしたい…。スタッフの熱い気持ち伝わる写真です。

## 編集後記

暑かった夏から、急に涼しく感じられた秋、皆様お元気にお過ごしでしょうか。おかげさまで、広報まちだ117号を無事に発行することができました。新型コロナウイルス感染症の影響は少なからずありますが、まちだ園では徐々に活気ある生活が戻ってきております。カメラを構えますと、ご利用者の皆様、そしてスタッフの明るさが戻ってきたようにも感じます。人の生きる強さ、きずなの大切さ、そういったことをカメラ越しに感じながら制作にあたらせていただきました。広報まちだをお手に取って読みいただいた皆様、本当にありがとうございました。



# デイサービスセンターまちだ園・みやうち デイホームみやうち

3つのデイサービスによる多彩なサービスと、元気なスタッフが自慢のデイサービス。「一刻も早いコロナ終息を願いつつ、皆様の期待に応えられるよう感染対策を講じながら行事を開催しています」と、高橋弘和通所事業統括責任者。この秋を、「秋の爽りに舌鼓、創作活動の成果を芸術展に。そして何ととっても秋は、敬老会、スタッフによる楽しい出し物は毎年好評です。今年もスタッフ総出で皆様の長寿をお祝いしました。今後もデイサービスだからできることを探求したいですね」旨ふり返った。

「家だったら、こんなに大きな口を開けて笑うことはない」

ご利用者様からのうれしい言葉。コロナ禍なりの「最高の秋」を皆様に。これからもデイサービスに期待です。

「コロナ禍なりの最高の秋」を満喫



写真(上)(下): デイサービス敬老会。皆様の健康とご長寿をお祝いし、スタッフの気持ちのこもった出し物が披露された。



写真(上): 敬老会では節目を迎えられた皆様にお祝いの感謝状が贈られた。



写真(左): 機能訓練の風景。表現豊かなスタッフにつられていつも以上に体が伸びる!



写真(上): 秋晴れの日、園外へ。秋の花々の可憐さと気持ちのよい青空。自然とみなさんの表情がやわらぐ。



写真(上)(左): 食欲の秋新米御膳が登場。ほかほか、ツヤツヤの新米が、みなさんの目の前でふるまわれた。



いつも描いて下さる塗り絵を持って、パチリ! とってもお上手です。これからもお元気で、私たちにたくさん塗り絵を見せてくださいね。

# 特別養護老人ホームまちだ園・ショートステイまちだ園

ご利用者のみなさまに感謝の思いを伝えたい

「現在も、新型コロナウイルス感染症対策を継続していますが、ご長寿のお祝い行事や秋まつりを行うことができ、ほっとしています」と、野村礼介介護係長。

「9月の敬老週間では、敬老喫茶や敬老会などを企画。コロナ禍、大変なことがあった分、皆様に、日ごろの感謝の思いをスタッフみんなまで伝えたい。お祝いの鯛菓子をおいしそうにほお張る方、敬老の日を元気に迎えて頂くことができました。10月には、スタッフ手作りの秋まつり。緑日や太鼓演奏など、皆様に楽しんで頂きました。これからも、皆様の笑顔あふれる活動をぜひ行っていきたい」と語った。

ケアの第一線に立つ介護スタッフ。まっすぐな思いが伝わってきた。



写真(上): 敬老週間。ご長寿のお祝いに「鯛菓子」を召し上げて頂いた。ホールいっぱいに笑顔があふれた。



写真(上): 介護スタッフが取り組む、月イチケアの風景。写真は「お化粧」のメニュー。みなさんとでもきれいな心おどる瞬間です! 写真(右): 機能訓練風景。この時間を楽しみにされる方は多い。写真(左): おにぎりバイキングにて。「昔よくにぎったね」。思い出す、若かりし頃の私。



写真(右): 敬老会。園長がお祝いと感謝の言葉を述べる。写真(左): 敬老喫茶。サンルームのバルコニーを解放。コーヒーの香りも一層引き立つ。



敬老喫茶の写真です。サンルームのバルコニーで撮影しました。外の空気とともにおいしかったですね! いつも楽しいお話をありがとうございます。



写真(上): まちだ園秋まつり。威勢のよいかけ声で、おみこし登場! 会場の雰囲気盛り上がる。



写真(上): おまつりの縁日。わたあめが一番人気。写真(右): 射的。ねらいを定めて全力を込めた一撃!





## 地域包括支援センター みやうち・やまこし

「地域の皆様とともに」を大切に  
安心して暮らしていける活動をサポート

地域包括支援センターは、65歳以上の方の長岡市の公的相談窓口。「みやうち・やまこし」が担当する地域は、宮内・十日町・六日市・山通・太田・山古志地区である。

最近の地域の様子について、金子希世子センター長から、「センターでは、高齢で身寄りのない方のご相談も受けます。例えば保証人や緊急連絡先がなく、必要な入院や手術ができないとか、病院の受診に付き添ってくれる人がいないとか、そういった場合に、病院や行政、関係機関と連携しながら解決に取り組んでいます」旨、話が合った。

長岡市には、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを、人生の最後まで続けることができるように、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」がある。

センターでも、コロナ禍で活動に制限があるが、地域の小学校や老人会、民生委員の皆様等の協力のもとシステムの構築を



写真(右)：地域で安心して暮らしている活動に取り組みスタッフ。地域の皆様とのかかわりを大切にしている。

## 居宅介護支援事業所 まちだ園・みやうち

ケース検討の機会を重視  
医療との連携を考える

経験豊かなケアマネジャーが揃う、居宅介護支援事業所まちだ園とみやうち。

ご利用者様、そしてご家族様の思いに対して、日々誠実に対応する。その仕事内容は多岐に渡る。

「居宅みやうち」の清水美春管理者は、「医療との連携」を課題にあげた。「私たちが担当させて頂く方々のなかには、病気を抱えての生活や退院後の生活に不安を抱えている方が増えていると感じます。基礎疾患を抱え、医療処置が必要な方の支援において、医療の専門家からの情報を得ることが必要だと感じますし、医療が専門ではない私たちケアマネジャーが、十分な予測を立てることは難しい場面があります」と振り返った。

「まちだ園とみやうち」のケアマネジャーにとって、ケース検討の機会を持つことは習慣だ。「その方のために、私たちは今、何を準備すればよいのか。これからのようなサービスが必要になるのか」と考える。



写真(右)：スタッフがお互いを信頼し合う。その方の支援に役立ちたいという強い思いは同じである。

スタッフ間でよく相談し合う。何よりその方の支援に役立ちたいと強い思いを持っているからだ。

## 長寿健康教室 だんだん

この「秋」を楽しむ  
新スタッフが加わり、さらにパワーアップ!



写真(左)(上)：だんだん人気メニュー、ノルディックウォーキング。楽しさに普段歩かないぐらいの距離をみなさん歩く。



写真(右)(下)：おかめかぼちゃ絵付け体験教室にて。今年もかわいらしいおかめかぼちゃが並んだ。



写真(右)：だんだんの魅力は元気なスタッフ。今日もみなさんに喜んでいただける「仕掛け」を考案中。



まちだ園の元気一番なサービス、長寿健康教室だんだん。

週1回(木曜日)、まちだ園の地域交流センター多目的ルームで行われている、送迎付きの介護予防教室。貯筋プログラムや口腔プログラム、民謡プログラムなどの講座に加え、おかめかぼちゃ絵付け体験教室も行われた。

担当する水澤智絵美コーディネーターから、「ご利用者のみなさんと一緒に秋を楽しんでいます。ノルディックウォーキングでは、長岡市民防災公園

へ出掛けました。秋風を感じながらみなさんとにぎやかにトレーニングを行いました。それから、毎年恒例のおかめかぼちゃ絵付け体験教室では、完成した「かぼちゃ」は不思議とご本人と似ています(笑)。参加者のみなさんの雰囲気もとてもいいですよ」とニコニコ。

新しいスタッフも加わり、さらにパワーアップ！活動的なサービスに期待です。

## 高齢者センター みやうち

来るべき  
ホワイトシーズンに備えて



写真(右)：高齢者センター。南部地域の福祉の拠点。コスモスがきれいに咲く。

地域の高齢者の皆様、健康で、明るい生活を過ごすことができるよう、様々な相談に応じたり、健康の増進や教育の向上、レクリエーションなどの総合的な施設として、多くの市民から利用され、愛されている高齢者センターみやうち。

現在、来るべき雪のシーズンに備えて、冬用の準備や花壇の草花の後片づけ、除雪機器類の整備など、いろいろと準備を進めているスタッフ。



写真(上)：エントランスには毎月、地域にお住まいの皆様からの作品を展示。足をとめゆっくりとご覧になる方が多い。

若月悟センター長から「当センターの駐車場(約70台分完備)は消雪パイプの設備がないため、大雪の際には、人力+2台の除雪機をフル動員して、ご利用される皆様にご不便をおかけしないよう、駐車スペースの確保に奮励努力をしてまいり所存です(小雪のシーズンになることを夢見て...)」旨、話が合った。

ようやく新型コロナウイルス感染症が少し落ち着いて、徐々に「日常」に戻ってきている。